

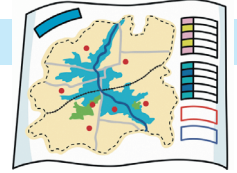
日頃から風水害に備えましょう

固防災危機管理課☎43-2147

近年、全国各地で大雨の被害が相次ぎ、ごく限られた範囲に短時間で極めて大量の雨が降る集中豪雨が頻発しています。日頃から風水害に備え、大雨や台風のとくに適切に行動できるよう心掛けましょう。

確認する ハザードマップは市のホームページで確認できます

- 住んでいる場所が「浸水想定区域」や「土砂災害警戒区域」内に位置しているか
- 災害の種類に応じた避難場所がどこにあるか



市では、洪水ハザードマップの更新作業を行っています

国や県では、それぞれが管理する河川について、洪水浸水想定区域の見直しを行っています。(馬淵川・浅水川・新井田川・奥入瀬川は公表済み。)それらを基に市では、洪水ハザードマップの更新作業を行っています。完成次第、広報はちのへなどでお知らせします。

確認する 避難勧告などの種類ととるべき行動を確認しましょう

危険度

小

危険度

大

種類	避難準備・高齢者等避難開始	避難勧告	避難指示(緊急)
発令時の状況	大雨警報、土砂災害警戒情報の発表が見込まれるときなど	大雨警報、土砂災害警戒情報が発令され、さらに降雨が継続する見込みであるときなど	土砂災害等の発生が確認されたときなど
行動	①避難に時間を要する人(高齢者、障がいがある人、乳幼児がいる人など)は、避難を開始すること ②それ以外の人は、いつでも避難できるように準備を始めること	避難所などへの避難を速やかに開始してください。	①避難中の場合は確実に避難を完了してください。 ②避難していない場合は緊急に避難してください。

災害時要援護者支援事業について

市では、地震や豪雨が発生したとき、自力では避難できない重度の障がい者や介護が必要な人(災害時要援護者)が、地域の支援を受けて避難できる仕組みづくりを進めています。固福祉政策課☎43-9258市ホームページ内「災害時要援護者支援事業」を検索



情報収集 さまざまなメディアを活用して情報を収集しましょう

風水害のおそれがある場合には、各種警報や市からの情報がさまざまな伝達手段で周知されます。ほっとスルメールや防災無線のほか、市ホームページなどで情報を収集し、避難勧告などが発令された際には安全な場所まで早めに避難できるようにしましょう。



災害時のさまざまな情報伝達手段

市(災害対策本部)

ほっとスルメール

防災行政無線

インターネットポータルサイト(yahoo!)

広報車による周知

市ホームページ

ラジオ

テレビ

電話

→ 自主防災組織・町内会(避難所開設地区)

洪水情報を緊急速報メールで発信します!

国が管理する馬淵川で、氾濫の危険が高まったとき、緊急速報メールが自動で発信されます。メールを着信したら、雨の降り方や馬淵川の水位を「川の防災情報」で確認しましょう。固国土交通省青森河川国道事務所☎017-734-4560

